

ICTを利用した社会のリフォーム をめざして Social Renovation by ICT at the Entrance of the Smarter Communication World

- 先端研究開発の成果を社会へ
産学官公連携のオープンプラットフォーム 形成 -



富田 二三彦

NICT

2014年6月30日



CONTENTS

1. NICTと最近のトピクスについて簡単にご紹介
2. 新たな取り組み
ーソーシャル・ビッグデータICTプロジェクトー
3. これからの日本発 ICTビジネスについて（私見）



主な業務 :

- ・ 情報通信分野の研究開発
- ・ 民間、大学等が行う情報通信分野の研究開発の支援 等



坂内理事長

年間予算：
約290億円 + α

常勤役職員：約410
(研究者：約270,
PhDs: 約210)

2014年4月時点



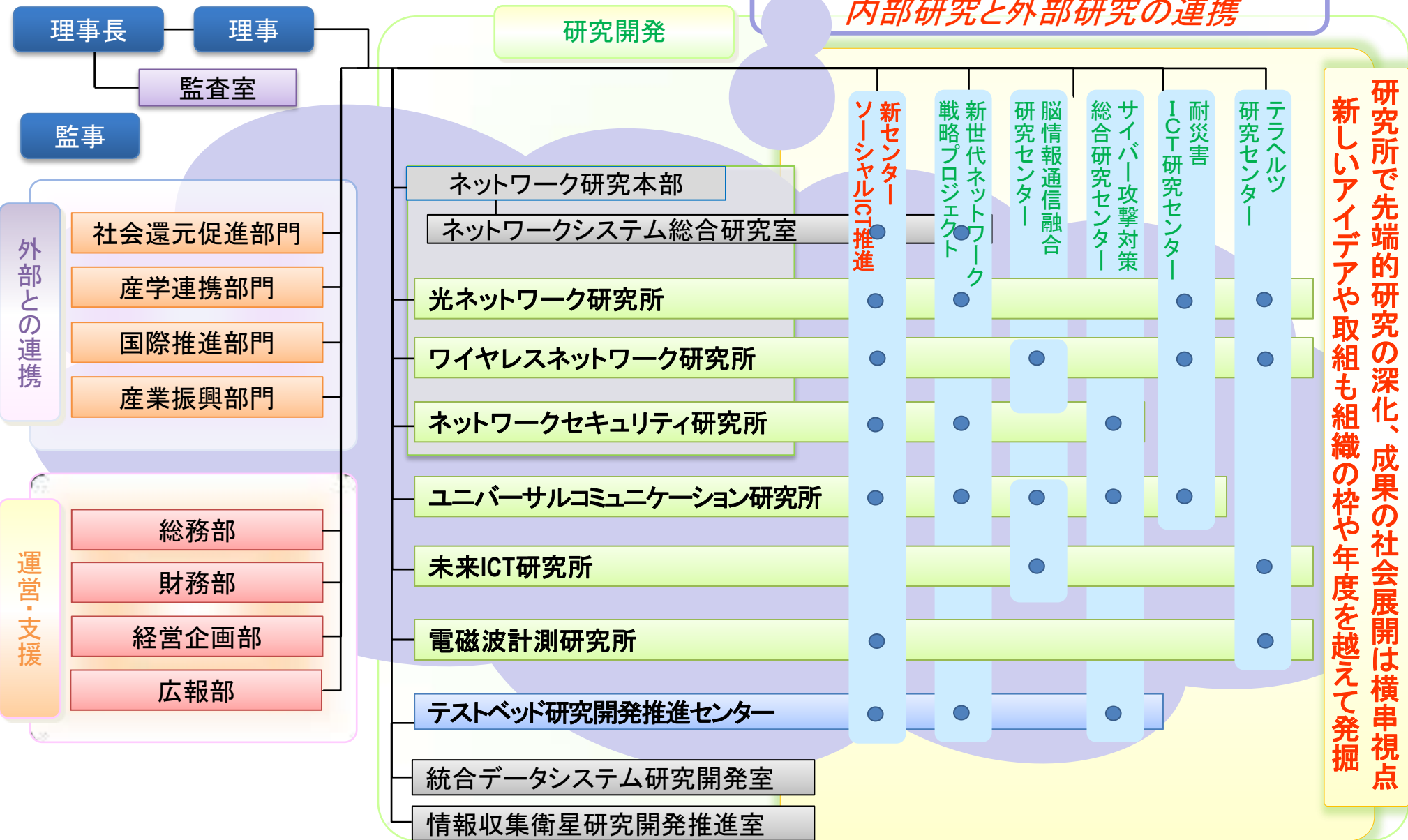
産学公官連携
(**オープンプラットフォーム
テストベッド**等)

国の情報通信政策

直接的な社会貢献
日本標準時の生成と供給
宇宙天気予報提供等

組織・体制

オープンプラットフォーム
内部研究と外部研究の連携



研究所で先端的研究の深化、成果の社会展開は横串視点
新しいアイデアや取組も組織の枠や年度を越えて発掘



ICT分野における若手人材発掘のための「起業家甲子園」、地域発ベンチャーの事業拡大・ビジネスマッチングに向けたチャレンジの場「起業家万博」を主催

NICT Entrepreneurs' Challenge 2days

Program 1 起業家甲子園

ICT分野における若手人材発掘



高専学生並びに大学生、大学院生等の若手人材を対象として、次代を担う若手による新規事業の創出等に寄与することを目的に、ICT利活用をベースとしたビジネスアイデアを競うコンテスト「起業家甲子園」を開催

Program 2 起業家万博

地域発ベンチャーのためのマッチングイベント



地域発ベンチャー企業をフォーカスし、ICTを利活用した新たな商品・サービス等の事業化・事業拡大等を支援することを目的に、ベンチャーキャピタルや大手事業会社等とのビジネスマッチング機会を提供する場として「起業家万博」を開催



最優秀賞 受賞風景



審査委員特別賞 受賞風景



発表者との記念撮影

平成25年度 起業家甲子園 出場チーム/プラン名 ※番号は発表順

- ① Tokyo Kawaii Guide / Tokyo Kawaii Guide (代表) 浅田将寿 (デジタルハリウッド大学)
- ② sO-Zo / 想像を創造するプラットフォーム — sO-Zo (代表) 王内 (早稲田大学)
- ③ ぱっしょんじえりー / Happy World Map (代表) 西原希咲 (沖縄工業高等専門学校)
- ④ CAR-D2 / 外国人インポーター専用「中古車仕入専門ウェブサービス」 (代表) 窪田遼太郎 (同志社大学)
- ⑤ Team 7lab / ICTで親子をつなぐ子育て支援コミュニケーションシステム「えみシステム」 (代表) 石野達也 (高知工業高等専門学校)
- ⑥ Dreampharos (ドリームパロス) / フレントサービス (友人と夢をデザインする、新しいタイプのSNS提供による、こどもの夢プラットフォーム構築事業) (代表) 董又碩 (北陸先端科学技術大学院大学)
- ⑦ Cellars / Cellars ~手の中に広がる忘れられないワインたち~ (代表) 矢野貴文 (京都大学)
- ⑧ いいとも!を見る会 / Busp (代表) 都井大樹 (小山工業高等専門学校)
- ⑨ Goroo / 全てのファッション通販サイトが1つに。"検索しない"ショッピングアプリ -melo- (代表) 花房弘也 (横浜国立大学)
- ⑩ Sequence Robot 開発チーム / SequenceRobotの提供 ~行列革命~ (代表) 高橋勇貴 (中央大学)
- ⑪ CrowdDesignN / 世界の成長を取り込むための外国人留学生の受入れ事業 (代表) 丁世堂 (京都工芸繊維大学)
- ⑫ MARK / MARK (代表) 板垣孝明 (慶應義塾大学)

2014.3.5 於;コクヨホール(東京都港区)



トークセッション



発表者との記念撮影

(※)「起業家万博」は、過去15回にわたり開催してきた「情報通信ベンチャービジネスプランコンテスト」の名称を改め再スタートさせたイベントです。「起業家万博」の「万博」という言葉には、全国各地で育まれたICTベンチャーを応援する地域・団体・人、これら全てを網羅する意味で、「万博=万人博覧会」という想いを込めています。

平成25年度 起業家万博 発表社(団体)等 ※番号は発表順

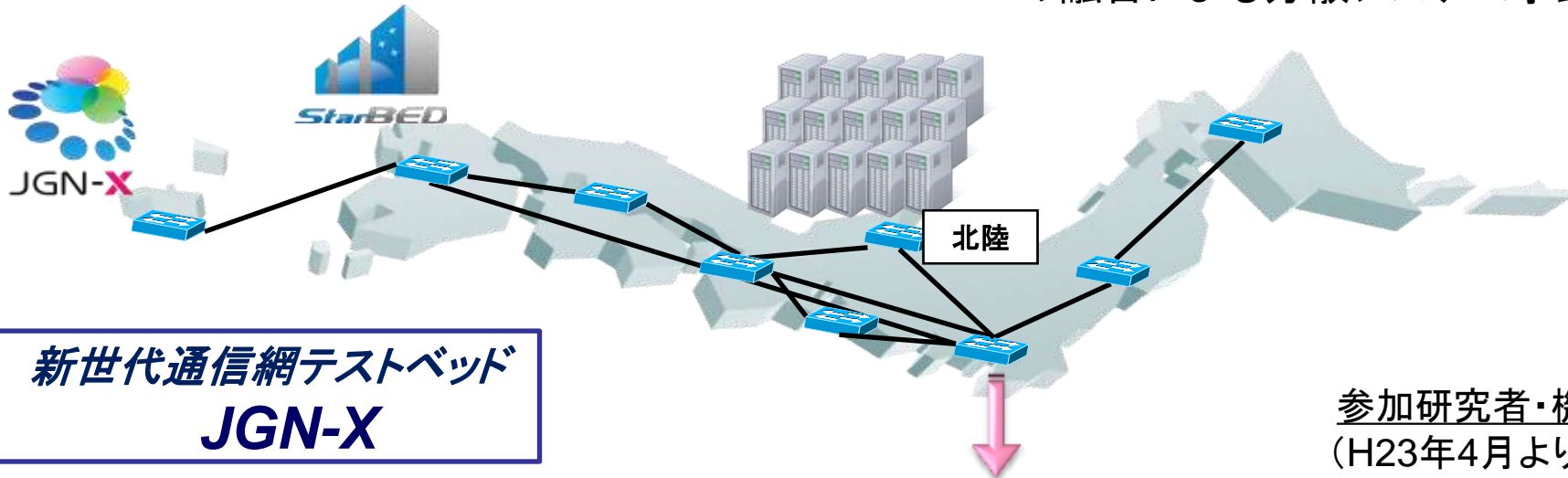
- ① 株式会社クリア 土門亨(代表取締役)(北海道地区:札幌)【支援機関】特定非営利活動法人札幌ビズカフェ
- ② 株式会社アイティコワーク 岡本信也(取締役)(東北地区:青森)【支援機関】青森県(宮城県・みやぎモバイルビジネス研究会)
- ③ 株式会社プラスヴォイス 三浦宏之(代表取締役)(東北地区:宮城)【支援機関】宮城県・みやぎモバイルビジネス研究会
- ④ 株式会社会津ラボ 久田雅之(代表取締役)(東北地区:福島)【支援機関】会津若松市
- ⑤ 個人事業主 森康祐(代表)(関東地区:神奈川)【支援機関】財団法人湘南産業振興財団
- ⑥ 株式会社エイブルコンピュータ 新田一也(代表取締役)(北陸地区:石川)【支援機関】財団法人石川県産業創出支援機構 (ISICO)
- ⑦ 株式会社dango Jean-Marc Pelletier(フェロー)(東海地区:岐阜)【支援機関】公益財団法人ソフトピアジャパン
- ⑧ 株式会社アントレプレナー 荒川敬介(代表取締役)(東海地区:愛知)【支援機関】財団法人人工知能研究振興財団(あいちベンチャーハウス)
- ⑨ 未来電子テクノロジー株式会社 福本真士(代表取締役CEO)(近畿地区:大阪)【支援機関】大阪商工会議所
- ⑩ ベクトルホールディングス株式会社 多田英起(取締役)(中国地区:岡山)【支援機関】特定非営利活動法人ビジネス・インキュベーター岡山(BIO)
- ⑪ 株式会社MEDIAS 室崎寿(執行役員社長)(中国地区:広島)【支援機関】広島インターネット・ビジネス・ソサイエティ(HiBiS)
- ⑫ 株式会社しくみデザイン 中村俊介(代表取締役/CEO)(九州地区:福岡)【支援機関】福岡県 Ruby・コンテンツビジネス振興会議

2014.3.6 於;コクヨホール(東京都港区)



**大規模エミュレーション基盤
StarBED³**

- 大規模クラスタ環境(1万超のCPUコア)
- シミュレーションとエミュレーション(模倣)の融合による分散システム挙動検証



**新世代通信網テストベッド
JGN-X**

- グローバルな超高速ネットワーク環境
- OpenFlowなど、新世代ネットワークの基盤技術を実展開、運用により検証



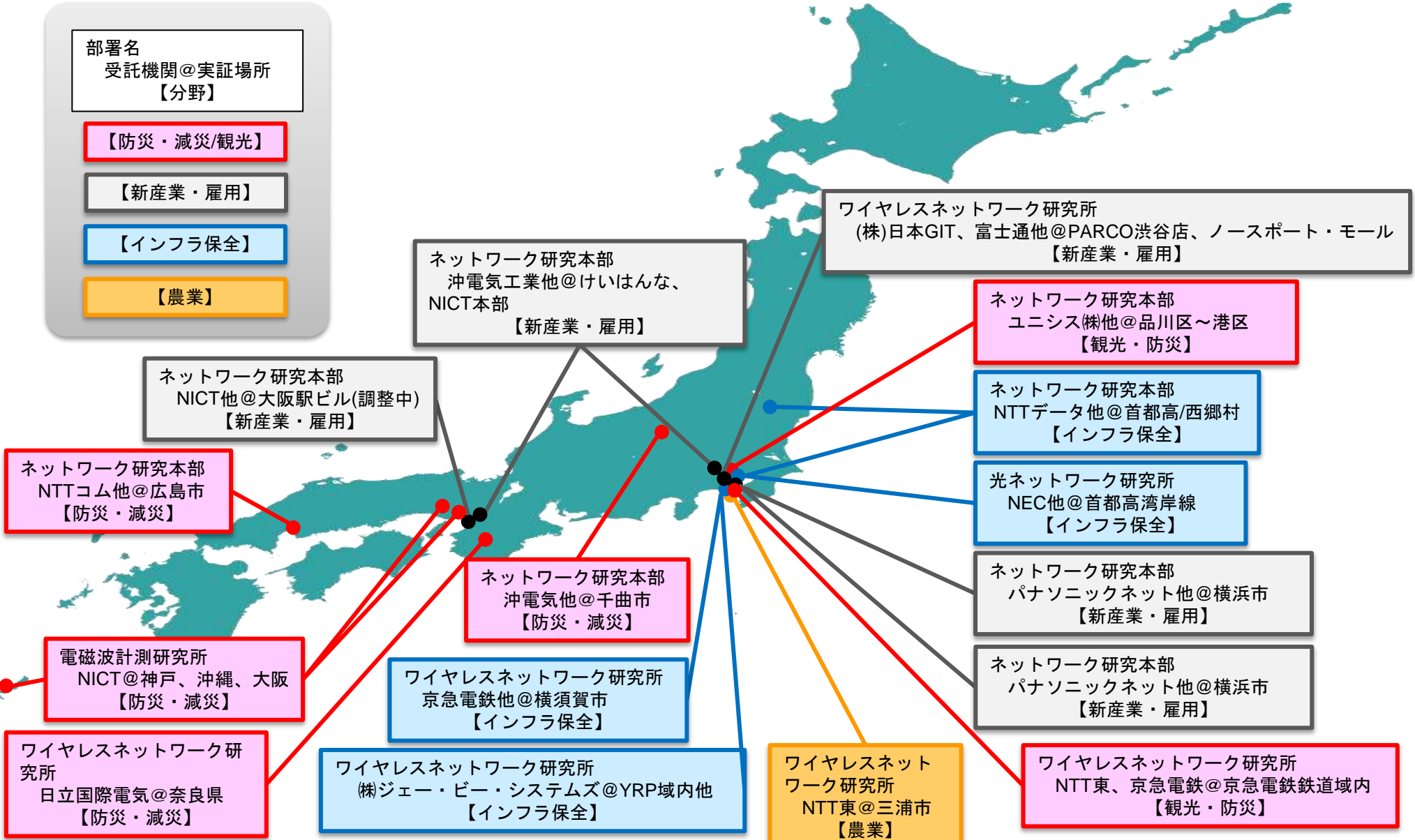
参加研究者・機関の数
(H23年4月より合計数)

	JGN-X	StarBED ³
参加研究者数	771	414
参加研究機関数	196	187
・大学、高専	82	61
・企業等	62	67
・政府系機関、自治体	38	56
・海外研究機関	12	1
・その他(協議会など)	2	2



部署名
受託機関@実証場所
【分野】

- 【防災・減災/観光】
- 【新産業・雇用】
- 【インフラ保全】
- 【農業】

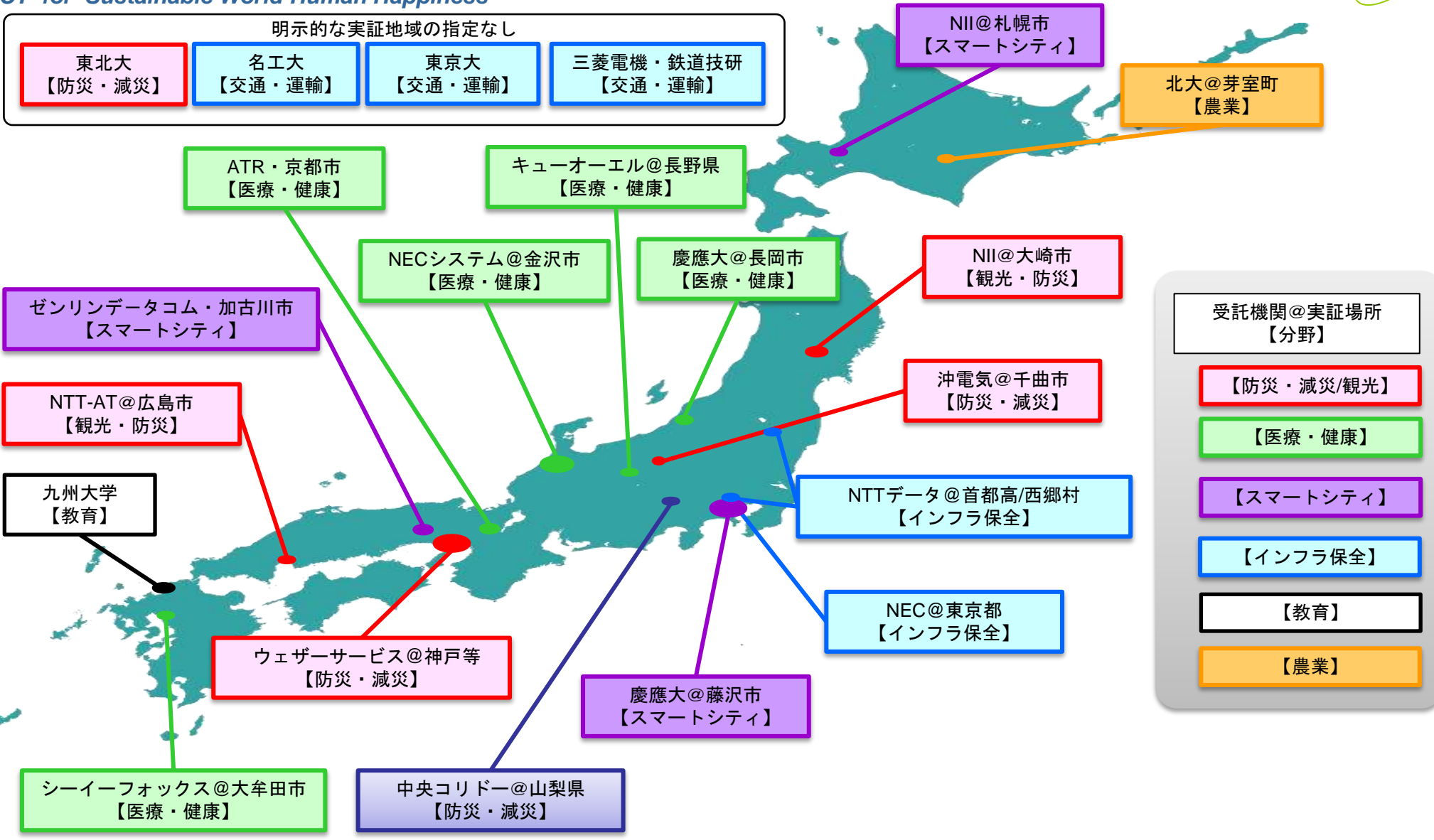




ICT for Sustainable World Human Happiness

明示的な実証地域の指定なし

東北大 【防災・減災】	名工大 【交通・運輸】	東京大 【交通・運輸】	三菱電機・鉄道技研 【交通・運輸】
----------------	----------------	----------------	----------------------



受託機関@実証場所
【分野】

【防災・減災/観光】
【医療・健康】
【スマートシティ】
【インフラ保全】
【教育】
【農業】



公共的で地域社会の

センシング・ビッグデータ

世界の地域社会へ

分析・予測 情報・知識

公共的で地域社会の

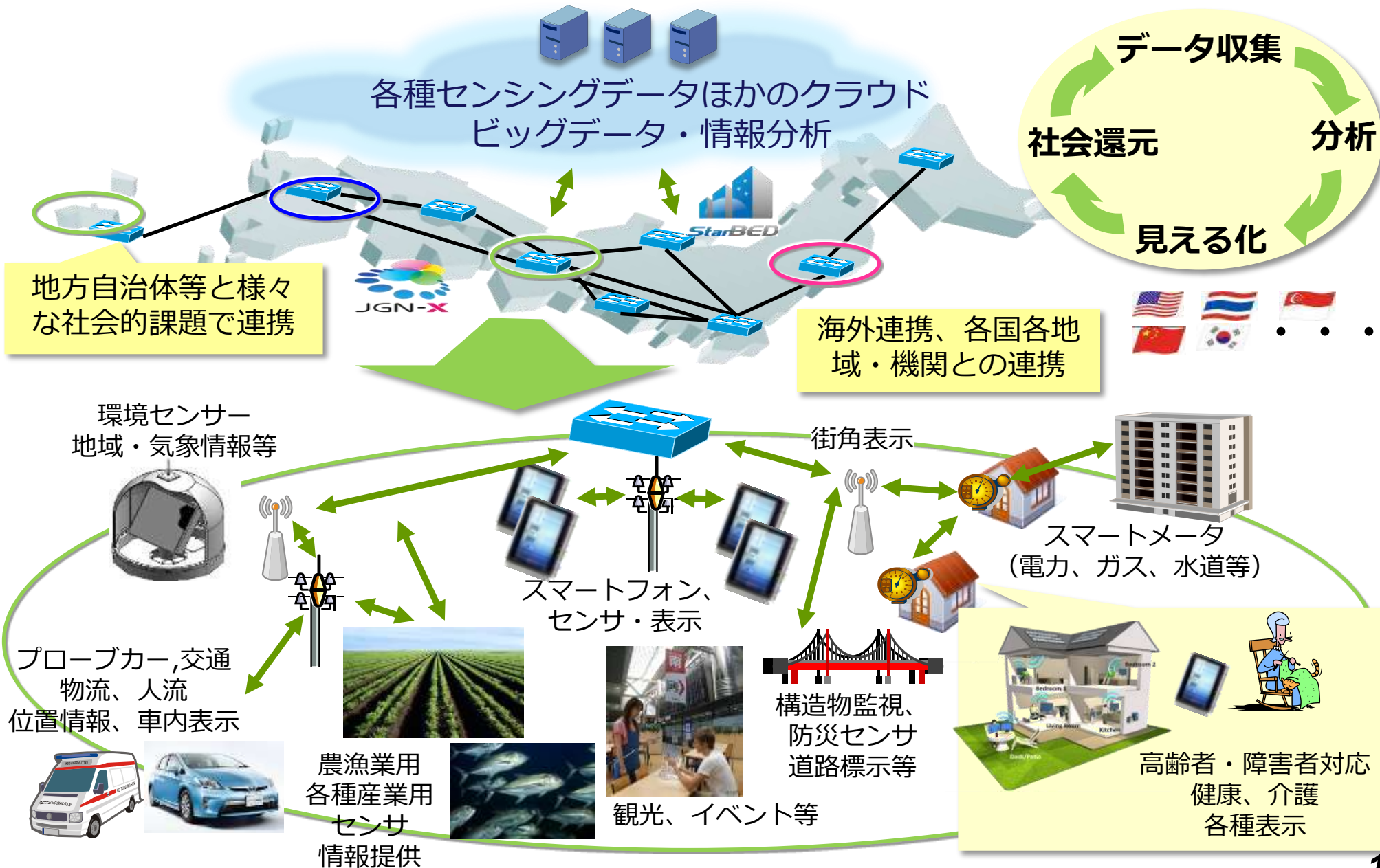
利活用

国内・外の地域の社会的・公共的な課題を解決することをめざして、社会実験・実証的な研究開発に取り組めます

社会に浸透するICTの
業界横断的な活用



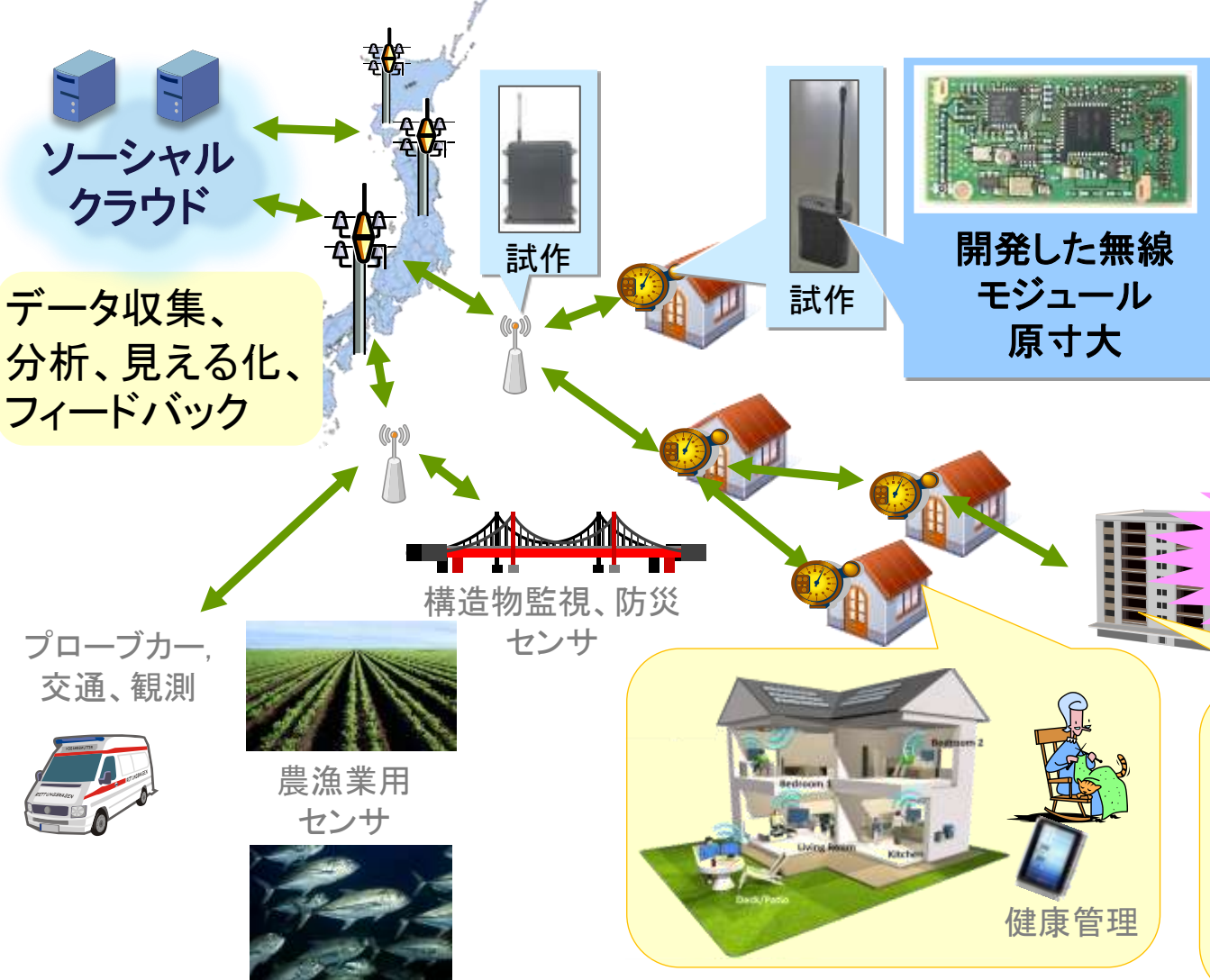
ソーシャルICT@NICTは地域の様々な社会的課題に取り組み、人を含む社会全体の健康状態をモニターして可視化しフィードバックすることにより、安全で安心な社会を構築します





ICT for Sustainable World Human Happiness

・各種メータ、カメラ等のセンサ、屋内外の様々な機器が柔軟に無線ネットワークを構成し、プライバシーやセキュリティに配慮して、情報収集、分析、見える化、フィードバック等を行います

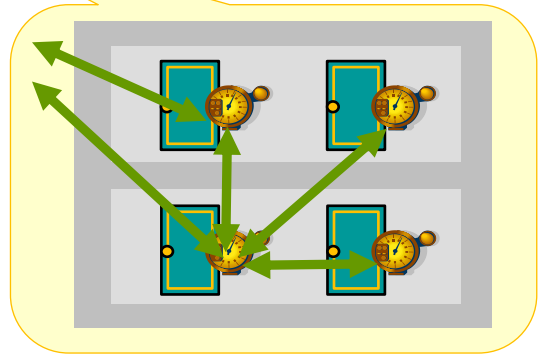


省エネ
 単3電池3個で10年間

サービスエリアの**拡張が簡単**
 (自律的マルチホップ通信)

電気、ガス、水道のほか
 各種センサーと連携し、
 遠隔モニタリングも**制御**も可能

数百億を超えるセンサー爆発
限界突破の切り札





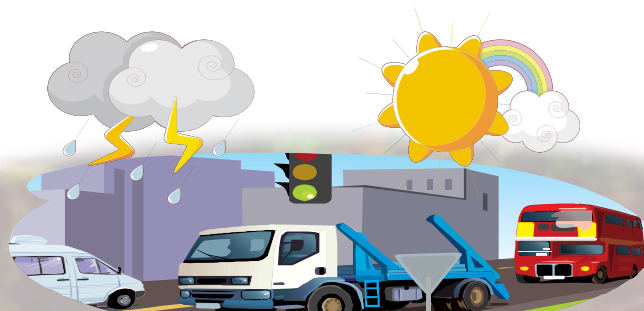
情報通信第3のパラダイム

- ・ フェーズ1 （～20年前）
いかにコンピュータや通信システムを作るかが主眼
- ・ フェーズ2 （～数年前）
いかにネット上にサイバー世界を作るかが主眼

- ・ **フェーズ3** （これから）

サイバー世界と実世界の融合による価値創造が主眼

価値創造：コマーシャルソリューション、アカデミックソリューション、
ソーシャルソリューション



実社会



学界



企業

ソーシャル・ビッグ・データ



ベンチャー



サイバー空間



国及び地方公共団体